

山本産業株式会社

2023年度 環境経営レポート

(対象期間：2023年4月21日～2024年4月20日)



発行日：2024年12月16日
改定日：2025年1月28日



I. ごあいさつ

山本産業株式会社は、昭和3年の創業以来、電気設備を通して地域社会の発展に尽力してまいりました。全従業員が地球環境の保全の重要性を認識し、環境負荷の低減に努めることにより、美しい国土の維持、人と環境が共存する社会を目指して取り組んでまいります。

環境経営方針

当社は、企業理念である“誠実・思いやりをもって産業界へ貢献する”に基づいて、電気工事の分野において、地球環境の保全のために、環境負荷の一層の低減を図るべく、全社一丸となって、自主的・積極的に環境への取組を推進します。

1. 環境経営の継続的改善を誓約します。
2. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
3. 二酸化炭素排出量の削減を推進します。
(電力、ガソリン、軽油、灯油、LPG)
4. 廃棄物の削減とリサイクルを推進します。
5. 水使用量の削減を推進します。
6. 環境に配慮した施工を推進します。
7. 本方針を全従業員に周知徹底します。

制定日：2022年4月21日

代表取締役 山本 周作

Ⅱ. 組織の概要

- (1) 名称及び代表者名
山本産業株式会社
代表取締役 山本 周作
- (2) 所在地
本 社 〒670-0946 兵庫県姫路市北条永良町138番地
但馬営業所 〒667-4405 兵庫県養父市米里3-1
- (3) 環境管理責任者及び担当者の氏名と連絡先
責任代表取締役 山本 周作 TEL:079-282-3001
担当代表取締役 山本 周作 FAX:079-282-3101
Email:syamamotoyic@yamamotosangyo.co.jp
- (4) 事業内容
電気工事業、電気機器の販売及びメンテナンス
- (5) 設立 1948年 9月 1日
- (6) 資本金 20百万円
- (7) 事業の規模
年間売り上げ高 370百万円(2023年度)

	本社	但馬営業所	合計
従業員 (名)	10	1	11
延べ床面積 (㎡)	488.1	130	618.1
敷地面積 (㎡)	1718	447	2165

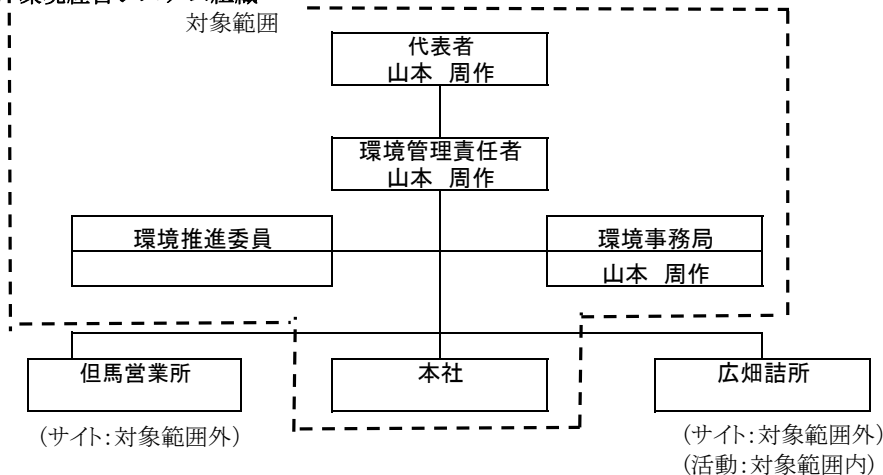
倉庫98.1㎡本社に

- (8) 事業年度 4月21日～翌年4月20日

Ⅲ. 認証・登録の対象範囲

登録組織名: 山本産業株式会社
対象事業所: 本社
対象外: 但馬営業所
活 動: 電気工事業、電気機器の販売及びメンテナンス
注) サイト認証である

IV. 環境経営システム組織



	役割・責任・権限
代表者(社長)	- 環境経営に関する統括責任 - 環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備 - 環境管理責任者を任命 - 環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 - 環境経営目標・環境経営計画書を承認 - 代表者による全体の評価と見直し・指示を実施 - 環境経営レポートの承認 - 経営における課題とチャンスの明確化
環境管理責任者	- 環境経営システムの構築、実施、管理 - 環境関連法規制等の取りまとめ表を承認 - 環境経営目標・環境経営計画書を確認 - 環境関連の外部コミュニケーションの窓口 - 緊急事態対応手順のテスト、訓練の指導及び総括 - 環境活動の取組結果を代表者へ報告 - 環境経営レポートの確認
環境事務局	- 環境管理責任者の補佐 - 環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 - 環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 - 環境活動の実績集計 - 環境関連法規制等取りまとめ表の作成、遵守評価の実施 - 環境教育訓練計画の作成と実施の管理 - 特定された項目の手順書作成（緊急事態への対応を含む） - 環境経営レポートの作成、公開（事務所への備付けと地域事務局への送付）
環境推進委員	環境事務局の補佐
部門長	- 自部門における環境経営システムの実施 - 自部門における環境経営方針の周知 - 自部門の従業員に対する教育訓練の実施 - 自部門に関連する環境経営計画の実施及び達成状況の報告 - 特定された項目の運用管理 - 緊急事態対応手順のテスト、訓練を実施、記録の作成 - 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
工事責任者 (現場代理人)	- 建設現場における環境経営システムの実施 - 工事担当者及び協力会社員に対する教育訓練の実施 - 建設現場の環境経営計画の実施及び達成状況の報告 - 緊急事態対応訓練の実施、記録の作成 - 建設現場での問題点の発見、是正、予防措置の実施
全従業員	- 環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 - 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

V. 主な環境負荷の実績

項 目	単位	2021年度 基準年度	2022年度	2023年度
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	30,151	24,576	14,963
電力使用量	kWh	22,464	21,343	17,227
ガソリン使用量	L	4,067	3,444	2,527
軽油使用量	L	4,954	3,496	1,155
LPG使用量	kg	16.0	25.0	24.5
廃棄物排出量	kg	20,695	24,233	38,233
一般廃棄物	kg	1,590	1,500	1,360
産業廃棄物	kg	19,105	22,733	37,073
水道水使用量	m ³	133	98	68
化学物質使用・販売量	kg	不明	なし	なし

VI. 環境経営目標及びその実績

(1) 中期目標

年 度	2021年度 基準年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
I. 二酸化炭素 排出量削減	kg-CO ₂ 対基準	30,151 △ 1 %	29,850 △ 2 %	29,548 △ 3 %	29,247 △ 4 %
電力使用量削減	kWh kg-CO ₂ 対基準	22,464 7,885 △ 1 %	22,239 7,806 △ 2 %	22,015 7,727 △ 3 %	21,790 7,648 △ 4 %
ガソリン 使用量削減	L kg-CO ₂ 対基準	4,067 9,437 △ 1 %	4,027 9,342 △ 2 %	3,986 9,248 △ 3 %	3,945 9,153 △ 4 %
軽油 使用量削減	L kg-CO ₂ 対基準	4,954 12,782 △ 1 %	4,905 12,654 △ 2 %	4,855 12,526 △ 3 %	4,806 12,398 △ 4 %
L P G 使用量削減	kg kg-CO ₂ 対基準	16.0 48.0 △ 1 %	15.8 47.5 △ 2 %	15.7 47.0 △ 3 %	15.5 46.6 △ 4 %
II. 廃棄物排出量					
一般廃棄物 削減	kg 対基準	1,590 △ 1 %	1,574 △ 2 %	1,558 △ 3 %	1,542 △ 4 %
産業廃棄物 適正管理	—	適正管理	適正管理	適正管理	適正管理
建設リサイクル率 の向上	% 対基準	不明 (83.6)	実績把握 (83.6)	84.1 +0.5%	84.6 +1%
III. 水使用量 削減	m ³ 対基準	133 △ 1 %	132 △ 2 %	130 △ 3 %	129 △ 4 %
IV. 化学物質使用量 削減	kg	実績不明	実態調査	目標設定	取組継続
IV. 環境に配慮した 施工の推進	件 対基準	実績不明	実態調査	取組開始	取組継続
			13	14	15
		(12)	+1件	+2件	+3件

注1) 化学物質の使用及び販売は有りません。

注2) 電力の二酸化炭素排出量への排出係数は関西電力㈱2020年度
実績値の調整後係数 0.351kg-CO₂/kWh を使用。

注3) 産業廃棄物適正管理とは、廃棄物処理法を適正に遵守すること及び出来る限り
3Rに努めることである。

注4) 環境に配慮した施工とは、作業で使用した物で油污れが酷い物は拭き取ってか
ら洗い、水道の使用量減少、又排水の汚れ軽減する。作業で出たゴミなどは会
社に持ち帰り使用出来る物は再利用し、ゴミは分別し処分する。

(2) 2023年度の実績

項 目	年 度	2023年度における実績				
		2021年度	2023年度			
		基準値	目標	実績	達成度	評価
I. 二酸化炭素 排出量削減	kg-CO ₂ 対基準	30,151 0	29,548 △2%	14,963 △50%	197%	○
電力使用量削減	kWh kg-CO ₂ 対基準	22,464 7,885 0	22,015 7,727 △2%	17,227 6,047 △23%	128%	○
ガソリン 使用量削減	L kg-CO ₂ 対基準	4,067 9,437 0	3,986 9,248 △2%	2,527 5,863 △38%	158%	○
軽油 使用量削減	L kg-CO ₂ 対基準	4,954 12,782 0	4,855 12,526 △2%	1,155 2,980 △77%	420%	○
L P G 使用量削減	kg kg-CO ₂ 対基準	16.0 48.0 0	15.7 47.0 △2%	24.5 73.5 +53%	64%	×
II. 廃棄物削減		0				
一般廃棄物 削減	kg 対基準	1,590 0	1,558 △2%	1,360 △14.5%	115%	○
産業廃棄物 適正管理	排出量 対基準	適正管理 0	適正管理	適正管理	—	○
建設リサイクル率 の向上	% 対基準	83.6 (2022年度)	84.1 +0.5%	70.8 △13%	84%	×
III. 水使用量 削減	m ³ 対基準	133 0	130 △2%	68 △49%	192%	○
IV. 環境に配慮した 施工の推進	件 対基準	12	13	16 +4件	123%	○

注1) 達成度欄にて、削減を目指す場合は、達成度＝目標÷実績×100(%)、増加を目指す場合は、達成度＝実績÷目標×100(%)

注2) 評価欄にて、○：達成（100%以上）、△：やや未達成（95%～100%未満）、×：未達成（95%未満）

注3) 再資源化率：再資源化量26,266kg÷産業廃棄物発生量37,073kg×100=70.8(%)

注4) 作業員の減少によりガソリン、軽油と水の使用量が減少した。それ以外、従業員一人一人が心掛けた為、達成した項目が増えた。

注5) 去年に比べると夏の暑さが長く続いた結果、飲み物を作るためLPGを多く使用した。

Ⅶ. 環境経営計画及び取組結果とその評価、次年度の環境経営計画

◎よくできた ○まずまずできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取り組み計画	達成状況	評価結果と次年度の環境経営計画
二酸化炭素排出量の削減 (目標達成)		
(下記の通り)		(下記の通り)
電力使用量の削減 (目標達成)		
・空調温度の適正化 (冷房28℃暖房20℃)	△	夏の暑さにより、やや未達成の部分もあった。
・サーキュレーターを設置	○	空気を対流させ空調管理をした。
・不要照明の消灯	○	節電ステッカーなどを貼り、周知に呼びかけた結果達成することが出来た。
・設備の空運転禁止	○	エアコンのフィルター等をこまめに清掃し、空運転が起きないように、心掛けた。
次年度の取り組み		次年度も上記項目を継続して実施する
ガソリン使用量の削減 (目標達成)		
・アイドリングストップ	×	使用なし
・急加速・急停車の防止	○	以前から安全運転を心掛けていたので今後も続けていきたい
・効率的な移動	○	今年度も達成できた お客様の要望に合わせながら効率を考えて現場までの移動ルートを決め、次年度はもっとより良くしていきたい
次年度の取り組み		次年度も上記項目を継続して実施する
軽油使用量の削減 (目標達成)		
・アイドリングストップ	×	使用なし
・空気圧、オイル等の点検	○	定期的に点検を行っている
次年度の取り組み		次年度も、左記取組を継続する
LPG使用量の削減 (目標未達成)		
・加熱式プレートコンパクター施工	×	現状ガスは給湯器にしか使用していないので現状維持。
・中温化合材の使用	—	該当なし。
・効率的施工で適温合材保持	—	該当なし。
次年度の取り組み		次年度も引き続き節減に努力をする。
一般廃棄物の削減 (目標達成)		
・実態調査	○	なるべくゴミを出さないように努力した。 次年度も継続し、ゴミを出さないように努力する。
・分別の徹底	○	なるべく細かく分別が出来るように心掛けた。 次年度も左記項目を継続して実施する。
次年度の取り組み		次年度も上記項目を継続して実施する。
産業廃棄物の適正管理 (目標達成)		
・実態調査	○	産業廃棄物の適正管理をマニフェストを用いて廃棄の管理をした。次年度も左記項目を継続して実施する。
・素材ボックスの設置	×	設置していない。
・保管場所の掲示板を設置	○	設置している。
次年度の取り組み		次年度も上記項目を継続して実施する。
建設リサイクル率の向上 (目標未達成)		
・分別によるリサイクル推進	○	素材ごとにボックスを設置。
・仮設資材の再利用の推進	○	素材ごとにボックスを設置。
次年度の取り組み		次年度も上記項目を継続して実施する。
水使用量の削減 (目標達成)		
・節水の周知徹底	○	昨年度より、呼びかけを徹底した結果、節水することが出来た。
・節水シールの貼付とポスター掲	○	節水シールを貼り、節水を周知に呼びかけた。
・清掃時・手洗い時の節水	○	節水を心掛けたが、より徹底していきたい。
次年度の取り組み		次年度も上記項目を継続して実施する。
環境に配慮した施工の推進 (目標達成)		
・工事分野別の技術・ノウハウ	○	ミスプリントを破棄するのではなく、メモ用紙として使用。
・環境配慮施工の推進	○	
次年度の取り組み		次年度も上記項目を継続して実施する。

VIII. 環境関連法規等の遵守状況の評価の結果

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	遵守する事項	遵守評価
廃棄物処理法	保管基準の遵守、収集運搬・処分業者との適正な契約、マニフェストの交付・保存・確認・交付状況等報告書の提出	遵守
建設リサイクル法	建築物等の分別解体義務、事前届出	遵守
資源有効利用促進法政省令	再生資源、建設工事副産物の再利用	遵守
自動車NOx・PM法	規制対象車両の登録禁止、規制対象車両の指定地域通行禁止	遵守
騒音規制法 姫路市公害防止条例	特定建設作業の届出	該当なし
振動規制法 姫路市公害防止条例	規制基準の遵守	該当なし
消防法	消火設備の定期点検(防火対象物)、事故時の措置届出(通報)、危険物の届出・点検・基準遵守、指定数量未満の危険物保管の扱い、指定可燃物の扱い	遵守
家電リサイクル法	特定家電4品目の適正な事業者(家電販売店)への引き渡し	該当なし
フロン排出抑制法	フロン類使用機器の定期点検と記録、漏洩防止、廃棄時の適切な処分 建物解体工事時におけるフロン類使用機器の有無の事前確認と発注者への書面説明、及び当該書面写しの保存	遵守

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規への違反はありません。

なお、関係当局より違反等の指摘はありません。

IX. 代表者による全体の評価と見直し・指示

今回の環境経営計画の策定から実施にあたり、従業員各自の削減への意識は変わっているものと実感しています。昨年に続き今回の評価期間でも達成出来なかった項目もあり、まだまだ細かい部分に目を向けて取り組むことが必要だと感じました。

項目	変更の可否	変更内容
環境経営方針	否	－
環境経営目標	否	－
環境経営計画	否	－
実施体制	否	－
その他	否	－

2024年 7月 29日
代表取締役 山本 周作

X. 環境への取組の紹介



<エコアクション掲示板>



<ごみの分別>



<清掃活動>



<消火訓練>